

【KSKQ】 2024 年 9 月号 No.233



あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日
第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行



8月12日、ほんわかメンバーと合同で【第8回涼しもう祭】を開催しました。
コロナで以前は出来なかった流しそうめんが復活！
皆さん流れてくるそうめんと悪戦苦闘(^^)/
この様子はYouTubeでもアップしますので、ご覧になって下さい！



- 脳性麻痺、夢の浪漫記！～四国一周の旅～(障害者のついでと)
——当事者スタッフのコラムです
- 岸田美智子 History(支援？介助？)
——法人で実施している自分史について紹介します
- 続・続・グループホームが危ない！？(制度のア・レ・コ・レ)
——大規模グループホームで実際に起きた事件について紹介します



あいえる協会
公式サイトはこちら

*** 障害者のついでと ***

脳性麻痺、夢の浪漫記!~四国一周の旅~

私は、脳性麻痺者だ。普段は車いすで移動している。腰が曲がり、歩きは不安定で時々転倒する。車が好きで、40代で二次障害を負うまで、休日はよくドライブにでかけていた。車、音楽、たばこがあれば、何もいらぬ程だった。車を運転しているときは、その緊張感が、仕事のしんどさや嫌な事を忘れさせてくれたからだ。

ある日、職場の先輩と定年後の夢である『車中泊・日本一周』について話した。先輩に『できるか?』と言われたことが、私を奮立たせた。人生の集大成として、自分が納得する生き方や挑戦を試みたいという気持ちが大きくなっていった。

そこで、今年のGWを利用して、亡き親父の故郷、四国一周をすることにした。車中泊には程遠いホテル宿泊という形であるが、自身の運転、集中力や気力、体力の確認と、障害者にとってどの様な課題があるのかを確認するためだ。正直、ワクワク感より事故や故障といった不安がどんどん膨らんで挫折しかけた。出発前日はいつもより体調を整え、持ち物を念入りに確認した。そして4月28日レンタカーに車椅子を積み込み、12時に出発した。

~挑戦!そして充実感~

何年かぶりの高速道路に緊張して手に汗が出まくり、運転を楽しむ余裕は全くなかった。しかし明石海峡大橋を通過する時、やっと余裕がでてきて、自分自身の運転で橋を渡っている事に感極まって涙が出てきた。緊張もしていたが、淡路島の緑や空、海峡の風景を眺め、がむしゃらに生きていた20代の頃の事が蘇った。まだまだこれからだけ楽しもうという気持ちに変わっていった。

一日目は高松空港、二日目は伊予市、三日目は足摺岬、四日目は高知市、五日目は徳島市のホテルに泊まった。そして最終日、大阪に戻る。選択したコースは完璧だった。家に戻ってからも、やり終えた達成感や充実感等、余韻に包まれていた。旅の詳細は、法人のブログでじっくりと語ろうと思う。

障害があるために、挑戦せず諦めてしまうこともあるかと思う。しかし、自分の本当の夢は何なのか?一生に一度しかない人生だからこそ、しんどいけど一歩でも実現していき、やり遂げた時の達成感や充実感は計り知れない程大きい。自信や可能性も広げられたと思うし、自分自身の大きな人生の財産、糧になった。

(文責: 赤松)



淡路自動車道



カツオのたたき定食



赤松の近影

*** 支援? 介助? ***

岸田美智子 History

~なぜ、私は地域での自立生活に取り組んでいったのか!? パート⑦~

ピア・エンジンの当事者スタッフである岸田美智子さんの自分史を紹介してきました。今回は第七弾! 最終回となります。

今回は、岸田さんの切なる想い。それから岸田さんの自分史を改めて読ませていただき、私なりに思ったことを書かせていただきたいと思います。



岸田美智子さん

★24 時間介護を受けながら、1995 年 5 月からグループホームほんわか第一号で暮らし、1999 年 6 月から一人暮らしを始めて 24 年目

★今はピア・エンジンで当事者スタッフとして勤務

★7 か月で生まれ、1 歳すぎに兄のはしかがうつり後遺症で脳性麻痺に。

★岸田さんの想い★

この間のコロナ禍だった時の医療現場では、医療崩壊が起こり、優生思想に基づいた命の選別(トリアージ)が現実的に行われていました。また、新型出生前診断は、国が関与し始めていて、全ての妊婦に新型出生前診断を受けさせようとしています。

このような命の選別は、この一見平和な社会にどんどん広がっています。そして、2016年に起こった相模原障害者殺傷事件にも表れています。私達はこのような命の選別時代をどのように受け止めて、生きていったらいいのかを考えていきたいものです。

★岸田さんの自分史から★

いつもとても明るく楽しく暮らしている岸田さんですが、これまでの人生では私の想像をはるかに超える色々な経験や想いがあったのだと思います。就学猶予があり、差別や人権侵害が当たり前にあった時代に、近所の人など地域との繋がりがあったから学校に行けたエピソードを聞くと、昔も今も変わらず社会の中で、地域の中で当たり前障害者が生きていけることが大事なんだと感じました。

そして、常に好きなことややりたいことなどを追い求めてステキな人生を送っている岸田さん! 私も見習いたいと思っています!!

(文責: 大倉)



*** 制度のア・レ・コ・レ ***

続・続・グループホームが危ない!?

~大規模グループホームで起こりうる・起こってしまったこと~

6月26日、運営する障害者グループホーム(以下、記載 GH)で悪質な不正を行ったとして、株式会社恵が愛知県と名古屋市内5か所の事業者指定を取り消されました。更に『連座制』が適用され、全国で運営している他の GH 等も指定更新を認められなくなりました。私達は、GH の大規模化は防いでいかないといけないものと、改めて認識しています。今回、その実際に起こってしまったケースの内容をお伝えしていきます。

まず、GH が大規模化することで、以下が発生する恐れがあります。

- ①効率や介助者都合が優先され、入居者に我慢を強いる。
- ②介助者に余裕がなくなり、虐待が起きやすい環境となる。
- ③調理も人手がかかるため、食事が冷凍・チルド品ばかりになる。
- ④日中活動などもその中に取り込まれ、生活全部が GH で完結して社会から隔離される。

これらを株式会社恵の大規模 GH の運営にあてはめてみると、

- ・月 28,000 円を食材費として徴収しているのに、実際に提供している食事の食材費は 1/4 程度の 8000 円弱
 - ・食材費の差額は運営資金として流用
 - ・人員配置を合わせるため、多くを経験が少ないスタッフで補う。
 - ・勤務していない職員が勤務したように、勤務体制等をごまかす。
 - ・利益のため、重度障害者で満室にするように指示する
- というように、かなり当てはまってしまいます。

事業として行う以上は一定の利益は必要ですが、障害者 GH は地域生活を続けていくための当事者の住まいであり、あくまで入居者個々の希望に寄り添う形で運営されなければなりません。GH は元々、当事者やその家族が住まいとして求めて、作られてきた制度であり、地域基盤に最重要とも言える社会資源になります。しかし国が 20 名定員を認め、さらに日中支援型という閉じ込め型を認めたために、利益だけを見て、入居者の意思やその家族の求める安全・安心をないがしろにする事業者も多数出てきています。

今改めて、GH 本来のあり方について、国へ訴えていかなければなりません。



(文責: 天満)

お知らせコーナー

みんなのぬくぬく～交流スペース～

- 次回ぬくぬくスケジュール ■
- 9月18日 10月16日
- 一番人気はミックスジュース!



障害者福祉の動向

- 7月 1日…GH 追い出し裁判 和解成立
- 7月 3日…旧優生保護法国賠訴訟
最高裁が国に賠償を命じる判決
- 7月 4日…放課後等デイサービスと
児童発達支援のガイドラインが改定
- 7月16日…障大連の総決起集会&デモ行進
- 7月31日…株式会社恵、障害児通所支援事業
でも不正請求が発覚
- 8月 7日…障大連と大阪府の交渉 1日目
- 8月16日…障大連と大阪府の交渉 2日目

★ヘルパーさん大募集★

時給：1350円～

勤務地：住吉区・西成区の一部

勤務日：週1日～OK!※応相談!

連絡先：ヘルプセンター・ホップ
住吉区殿辻2-2-27 野村ビル201号室
TEL:06-6676-2010

片山恵子さん、福山雅治のライブに行く
地域生活をされている片山さんが
福山雅治のライブを楽しみました。
グッズもたくさん買いましたよ!



住吉区地域自立支援協議会

■障がい者の暮らし何でも相談■

日程：9月25日(水) 11時～14時 住吉区役所にて



編集人・発行人

■編集人■

社会福祉法人あいえる協会

〒558-0042 大阪市住吉区殿辻2-2-27 野村ビル201号室

TEL:06-6676-2010 FAX:06-6676-2011

郵便振替口座 00960-5-137458 年間購読料 600円(定価100円)

■発行人■

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

社会福祉法人あいえる協会

法人本部

ヘルプセンター・ホップ

自立生活センター・まいど

グループホーム・あいえる

グループホームほんわか

ウィル

ライフ・ネットワーク

ピア・エンジン(分所)